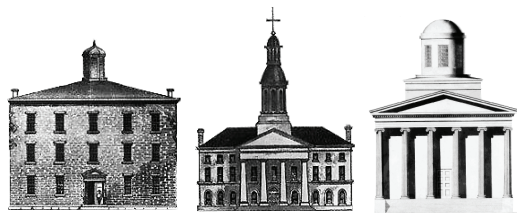




KENTUCKY
HISTORICAL
SOCIETY

ケンタッキーの旧州議事堂： 自己案内ツアー



-背景-

フランクフォート：意外な州都

ケンタッキーが1792年に州になった時、フランクフォートは小さな、新しい河川都市でした。いくつかの町が、新しい州の都になりましたがっていました。選考委員会はフランクフォートを選びました。というのもその市民たちが（現金、土地、建設資材などの）インセンティブをより多く提供したからです。

ケンタッキーの初めの二つの議事堂

ケンタッキーの最初の常置州議事堂は、3階建ての石造建築で、この場所に1794年にオープンしましたが、20年後に火事で焼失しました。より精巧なレンガ造りの建物が、1816年に一番目の議事堂に取って代わりましたが、これも1824年に火事で焼失しました。

大胆なプランをもった若い建築家

この建物は3番目のケンタッキー州議事堂です。議会はその建設を1827年に認可し、ギデオン・シュライオックというレキシントン出身の25歳の建築家による、古代ギリシャ風（ギリシャ復興）のデザインを選びました。シュライオックのデザインは、プリエネにあるミネルバ・ピュティオスの寺院に似ています。この建物はケンタッキーを、開化した人民政府の原型である古代ギリシャに象徴的に結び付けています。

これはアパラチア山脈の西側で作られた最初の大規模なギリシャ復興スタイルの建物です。

-1階-

玄関ホール

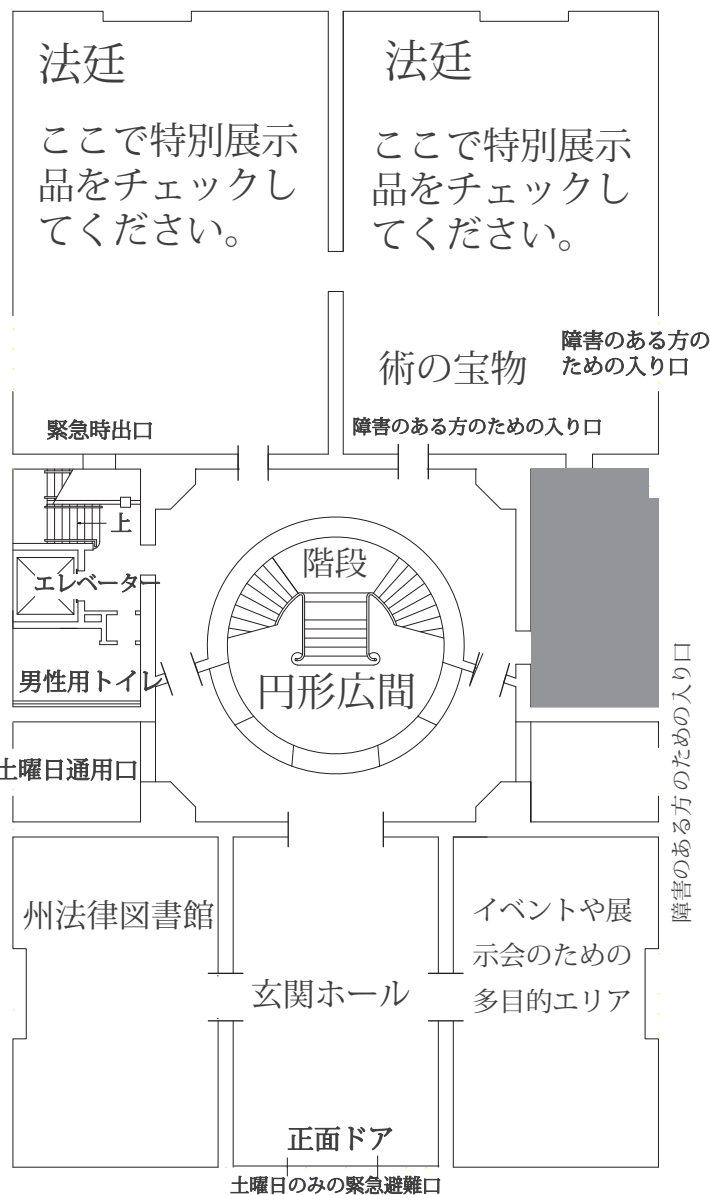
大きな正面玄関と高い天井が議事堂への威厳のある通路を創り出しており、中で進行中の作業の重要性を伝えます。玄関ホール（広間）は、祝賀、演説、そして厳粛な出来事の場所でした。

人々が敬意を払うことができるよう、ダニエルおよびレベッカ・ブーンといった著名人たちの遺体が安置されています。1845年、フランクフォートの町の指導者たちは彼らをミズーリの墓から掘り出させ、新しいフランクフォート墓地に埋葬するためにケンタッキーに持ち帰りました。

州法律図書館

州法律図書館は3つのグループの役に立ちました。議員たちはこれを法令研究のために使い、弁護士たちは裁判事件を調査し、また一般市民は本を読んだり借りたりしました。

完成当時でさえ建物は蒸し暑かったです。高価な法律書籍を乾いた状態に保つため、この部屋では夏も含め火がいつでも炊かれていました。



階段

円形広間に中にある、表情豊かなケンタッキー大理石製の環状階段は、常に人気のある特徴の一つです。石工たちはそれぞれの段を正確に切り取り、その上の段にぴったりとはまるようにしました。

二階にある「かなめ石」の踊り場が、これらの段を固定しています。それ以外に階段を支えるものはありません。

法廷

州の上訴裁判所と連邦巡回裁判所がこの建物の奥にある二つの大きな部屋を使っていました。これらの部屋の元々の備品や配置は不明です。今日、これらはケンタッキー歴史協会の展示品を収納しています。

「大復興：ケンタッキー装飾芸術の宝物」を今日の皆さんの滞在中にお楽しみください。階段の後ろの廊下を通してアクセスしてください。

-2階-

ドーム

ギデオン・シュライオックは、ドーム状の頂塔を建物に付け加えたことによって、ギリシャ復興スタイルとは一線を画しました。それは豊かな日光をもたらし、電気が使われる前の日々にはとりわけ役に立ちました。

ハリー・モルデカイは漆喰の飾りを天井にそして議事堂中に施しました。熟練の職人であったモルデカイは元奴隷で、彼自身、彼の妻、そして他の家族たちのために努力・犠牲を払って自由を得ました。

上院会議場

二つの議場のうちの小さいほうである上院会議場では、議員たちが、19世紀と20世紀初期にケンタッキーを形作った激動の出来事について討論しました。当時の政治スタイルは荒っぽいものでした。

葉巻をくゆらせ、タバコを吐き出している議員、ロビイスト、ジャーナリスト、市民らでいっぱいのこの部屋を想像してください。

クローク・ルーム

州の上院議員たちが彼らの外套をこの部屋に掛けて使っていた以前、この部屋は州法律図書館でした。展示されている品々は、南北戦争時の当建物がどう使われていたかを表しています。南部同盟軍は فران克福ォートを1862年9月に攻略し、その後1か月間、連邦（北部諸州）政府軍が彼らを逃亡させるまで占領しました。連邦（北部諸州）軍は戦争が終わるまで議事堂にとどまりました。

フラン克福ォートは南部同盟軍が攻略した唯一の連邦（北部諸州）の州都です。

下院会議場

奴隷制度と南部諸州の連邦脱退の問題は、下院会議場で激しい議論を巻き起こしました。ケンタッキーのヘンリー・クレイを含め、州および国の政治家たちがここで演説をしました。クレイはこの部屋に立ち、対立する双方をなだめ、内戦を防ぐことを意図した一連の連邦法案である1850年の妥協案を擁護しました。

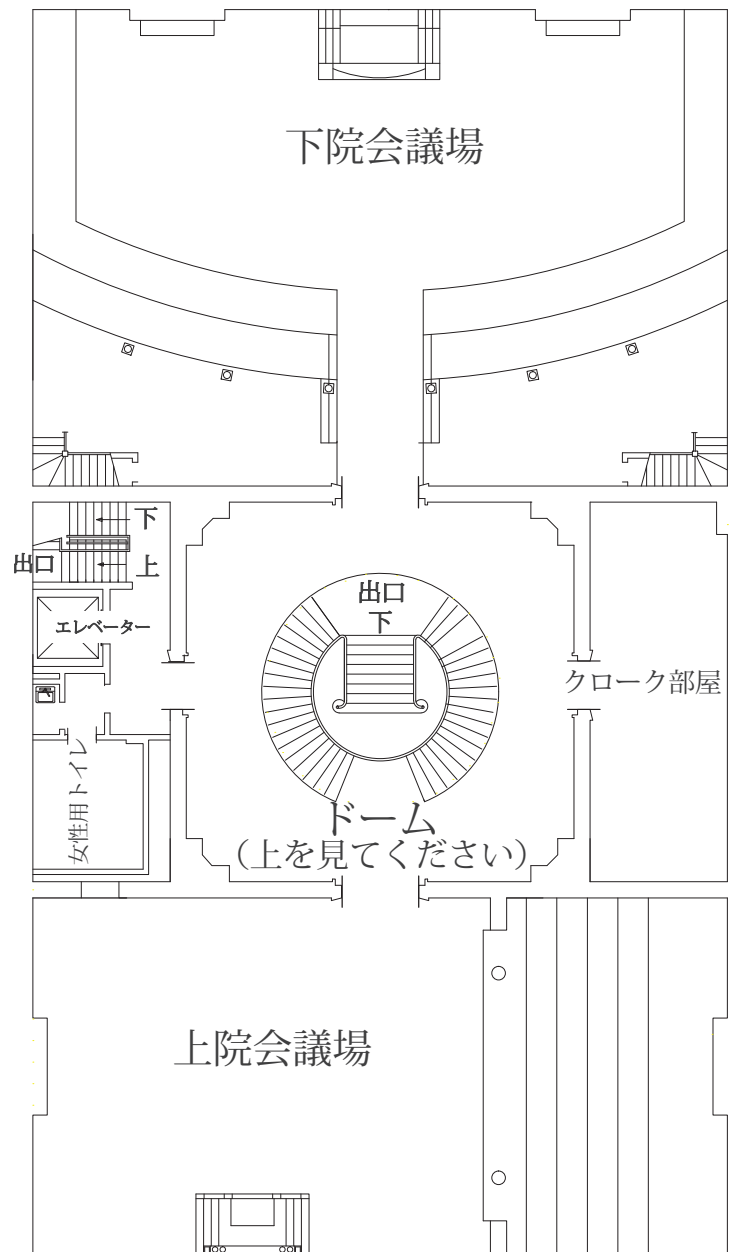
1861年、議員たちがケンタッキーの戦争への対応を決めようとして、下院会議場には再び激しい論争が起こりました。議会は初め中立を保つことを議決しました。南部同盟軍がケンタッキー西部の都市コロンバスを1861年の秋に攻撃した後は、議会は連邦（北部諸州）側に付きました。

-ウィリアム・ゴebel：議事堂の歩道での暗殺-

ここを離れる際、この建物の前、ブロードウェイ通りに面した時に噴水の左側の通路にある、小さな銘板にご注目ください。それは暗殺者がウィリアム・ゴebelを射殺した日に、彼が倒れた所を示しています。ゴebelの像が芝生に立っています。

1887年から1899年にかけて州上院議員であったウィリアム・ゴebelは、無秩序な政治の主人かつ犠牲者でした。この民主党員は1899年の州知事選挙で、共和党のウィリアム・テイラーに対抗して立候補しましたが、テイラーが383票差で公式に勝利しました。民主党員たちは州議会の多数派を形成しており、テイラーが1899年12月に知事に就任した後さえも選挙結果に抗議していました。武装した男たち（その多くは共和党員だったのですが）がフラン克福ォートに来て、民主党員が「選挙をかすめとる」のを防ごうとしていました。議員たちが委員会を開いて選挙結果を審議したとき、双方の敵意は高くなっていました。

1900年1月30日、ゴebelが審議に参加するため議事堂に向かって歩いていた時、隣の州長官のオフィスにいた一人の殺し屋が彼を撃ちました。ゴebelは2-3日生き延びましたが、この間テイラーは内乱状態を宣言し、州の民兵を出動させ、議会にフラン克福ォートを離れるよう命令しました。一方、



民主党の議員たちは秘密裡に会い、ゴebelが選挙の勝利者として宣言できるために充分な数の票を無効にしました。

1月31日、彼らはゴebelを宣誓させ知事に就任させました。こうして、ケンタッキーに二つの政府ができたのです。2月3日のゴebelの死により、全面戦争状態は回避される見込みとなりました。二つの党派は裁判所に問題を解決させることを決めました。裁判は、ケンタッキーの最上級の裁判所まで争われ、ゴebelを勝者として認定しました。副知事のJ.C.Wベッカムは知事に就任した時30歳で、今日なおケンタッキーの州知事になった最も若い人物です。

5人がゴebel殺人事件の裁判を受けました。3人が服役しましたが、のち赦免されました。歴史家たちは、ウィリアム・ゴebelを殺したのは誰か、誰にも本当のことはわからないと述べています。

旧州議事堂においでくださり、ありがとうございました！

あなたが支払った入場料は、トーマス・D・クラーク・センター・フォー・ケンタッキー・ヒストリーとケンタッキー軍事歴史博物館への入場料を含んでいます。スタッフ・メンバーかボランティアにこれらの場所への行き方をお聞きください。受付に立ち寄り、本日のあなたの経験に関して短いアンケートにお答えください。